

まちづくり交付金 事後評価シート  
上市川地区

平成21年12月

青森県五戸町

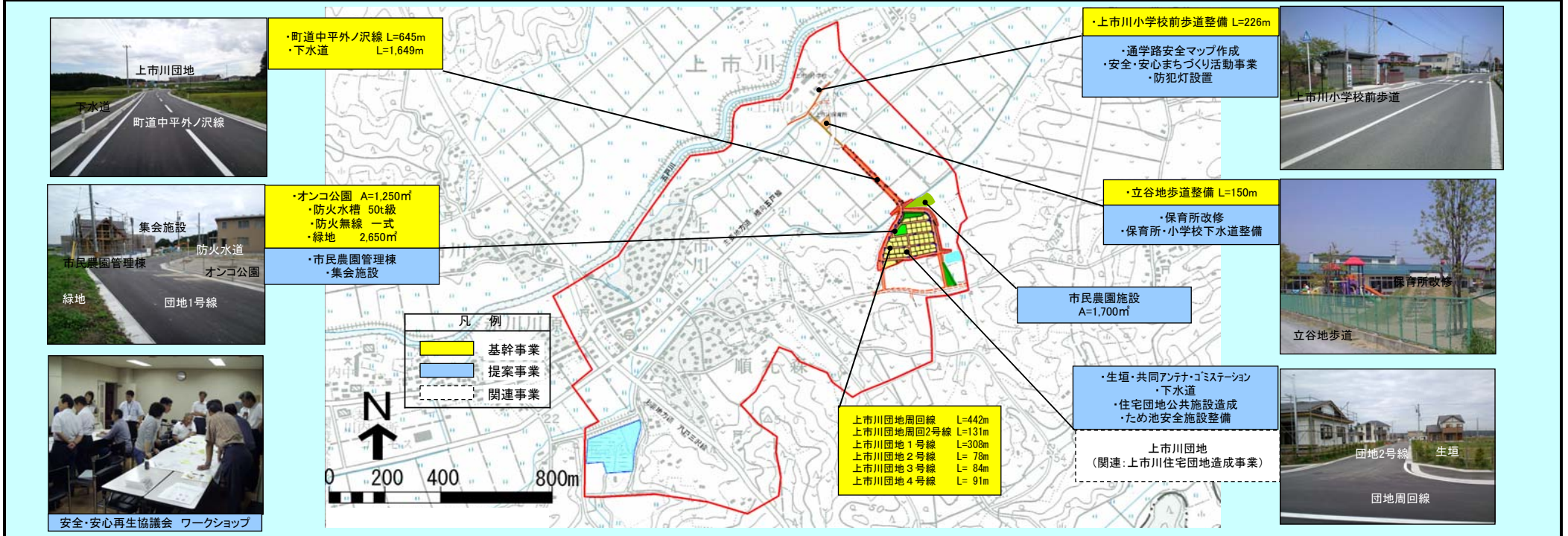
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	青森県		市町村名	五戸町		地区名	上市川地区			面積	146ha		
交付期間	平成18年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	720百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(中平外ノ沢線 外8路線)、公園(オンコ公園)、下水道事業、地域生活基盤施設(防火水槽、防災無線)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	生垣、共同アンテナ、ごみステーション、集会所、住宅団地公共施設用地造成、保育所改修、保育所・小学校下水道整備、住宅団地整備計画検討、通学路安全マップ作成									
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(上市川団地歩道)、下水道(外ノ沢調整池)		道路:緑地内の遊歩道として整備するため削除 下水道:詳細設計の結果当施設が不要となったため削除			影響なし				
			提案事業	なし									
交付期間の変更		当初	平成18年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	定住人口の増加	人	863	H17	915	H21		860	△	あり なし ●	想定外の人口減により、目標値に達することができなかったが、人口減少傾向に歯止めがかかったことは評価できる。	H22年4月頃
	指標2	住民満足度の向上	%	46.3	H17	60.0	H21		57.6	△	あり なし ●	街路灯等の未完了工事が完成することにより、満足度が向上すると想定される。	H22年6月頃
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	地区内世帯数	世帯	238	H17			270			上市川地区の住宅販売により、世帯数の増加が認められる。	H22年4月頃	
	その他の数値指標2	保育園の児童数	人	38	H17			65			保育園の改修・拡張により、保育の環境が整い、児童数の増加が認められる。		
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の改修・拡張及び町の施策である保育園保育料の半額化により、子育ての環境が整った。</li> <li>・保育園及び小学校の下水道整備により、衛生環境が向上した。</li> </ul>												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	上市川地区安全・安心再生協議会の設立					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 建設課が主管課となり、意見交換を行い、今後のまちづくりの方策について検討・整理する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2-2 地区の概要

### 上市川地区(青森県五戸町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:心の豊かさが実感できる質の高い暮らしを築くまちづくり 小目標①:誰もが豊かに暮らすことができる良好な居住環境の形成 小目標②:人に優しい安全・安心の生活環境形成	定住人口の増加	単位:人	863 H17	915 H21	860 H21
	住民満足度の向上	単位:%	46.3 H17	60.0 H21	57.6 H21
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者の子育て世代が住める新たな環境が整備された。</li> <li>・八戸市内へ勤務している人々にはベッドタウンとしての一定の役割を果たしている。</li> <li>・小学校前の歩道整備、上市川地区安全・安心再生協議会のワークショップにおける要望箇所における街路灯を設置したことにより、以前より安全・安心な住環境に向上した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住環境の計画的な確保として、上市川団地を造成し、子育て世代が住める新たな環境が整備されたので、今後の住民活動を支援する必要がある。</li> <li>・上市川団地のコミュニティ活動を活性化させるため、集会施設等の有効活用を行政が側面支援する。</li> <li>・公園、緑地、生垣及び市民農園施設の維持管理等に関するところを、行政が側面支援する。</li> <li>・通学路の安全確保のため、持続的な安全・安心まちづくり活動を支援する。</li> <li>・危険箇所の道路施設改善や通学路安全マップの見直しによる、標識等安全施設の整備充実を図り、通学路の安全を確保する。</li> </ul>

# まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

## ~~(7) 有識者からの意見聴取~~

- ~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道中平外ノ沢線	143	歩道・車道及び街路 灯整備 L=645m	185	歩道・車道及び街路 灯整備 L=645m	プレロード工法を採用のため工事 費増	影響なし	●	
道路	町道上市川団地周回線	120	歩道・車道及び街路 灯整備 L=442m	100	歩道・車道及び街路 灯整備 L=442m	提案事業により、道路部分の盛土 切土工を施工したため当該工事費 は減額	影響なし	●	
道路	町道上市川団地周回2号線	—	なし	2	歩道・車道及び 街路灯整備L=131m	避難路としてのアクセス道路を確保す るため当事業を追加	影響なし		●
道路	町道上市川団地1号線	48	車道及び街路灯整 備 L=308m	37	車道及び街路灯整 備 L=308m	提案事業により、道路部分の盛土 切土工を施工したため当該工事費 は減額	影響なし	●	
道路	町道上市川団地2号線	12	車道整備 L=78m	10	車道整備 L=78m	同上	影響なし	●	
道路	町道上市川団地3号線	13	車道整備 L=84m	11	車道整備 L=84m	同上	影響なし	●	
道路	町道上市川団地4号線	14	車道整備 L=91m	12	車道整備 L=91m	同上	影響なし	●	
道路	上市川団地歩道	6	歩道及び街路灯整 備 L=41m	—	なし	緑地内の遊歩道として整備するた め削除	影響なし	—	—
道路	立谷地歩道	12	歩道及び街路灯整 備 L=150m	10	歩道及び街路灯整 備 L=150m	用地買収費及び補償費が不要とな り減額	影響なし	●	
道路	上市川上小線歩道	25	歩道及び街路灯整 備 L=226m	36	歩道及び街路灯整 備 L=226m	補償物件の増加により増額	影響なし	●	
公園	オンコ公園	30	公園整備 A=900㎡	30	公園整備 A=1,250 ㎡	四阿・遊具設置等	影響なし		●
河川									
下水道	上市川団地地区(暗渠)	185	L=1,839m	61	L=1,649m	一部、提案事業に移行 一括発注による事業費低減	影響なし	●	
下水道	外ノ沢調整池	60	V=1,500㎡	—	なし	下流町道側溝へ排水可能のため 事業削除	影響なし	—	—
駐車場有効利 用システム									
地域生活基盤 施設	上市川団地地区	5	防火水槽 40t	5	防火水槽 50t級	防災機能を強化するため、50t級に 変更	—	●	
地域生活基盤 施設	上市川団地地区	4	防災無線 一式	6	防災無線 一式	事業費精査による増額	—		●

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域生活基盤 施設	上市川団地地区	—なし		14:緑地 2,650㎡		団地内の憩いの場として緑地を2ヶ 所追加	影響なし		●
高質空間形成 施設									
高次都市施設									
既存建造物活 用事業									
都市再生交通 拠点整備事業									
土地区画整理 事業(都市再 生)									
住宅市街地 総合整備事業									
地区再開発事 業									
バリアフリー環 境整備事業									
優良建築物等 整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業									
街なみ環境整 備事業									
住宅地区改良 事業等									
都心共同住宅 供給事業									
公営住宅等整 備									
都市再生住宅 等整備									
防災街区整備 事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	生垣(景観づくり)	5	L=2,000m	5	L=1,000m	事業量精査による変更	—	●	
	共同アンテナ	10	一式	12	一式	地区外への受信施設設置による事業費区分変更	影響なし	●	
	ごみステーション	2	1棟	1	1棟	事業費精査による減額	—		●
	集会施設	15	1棟	34	1棟	床面積増のため	影響なし		●
	住宅団地公共施設用地造成	24	A=14,000㎡	44	A=14,000㎡	軟弱地盤対策等により事業費増	影響なし	●	
	保育所改修(保育所拡張等)	26	A=1,000㎡	36	A=1,213㎡	施設整備費の増	影響なし	●	
	保育所・小学校下水道整備	34	2ヶ所	15	2ヶ所 (L=244m)	圧送ポンプ設備不要となり事業費縮減	影響なし		●
	下水道(暗渠)	—	なし	6	L=190m	基幹事業から移行	影響なし	●	
	市民農園施設	—	なし	11	用地整備 A=1,700㎡ 管理棟1棟	事業追加	影響なし		●
	防犯灯設置	—	なし	2	通学路に防犯灯を設置 30ヶ所	事業追加	影響なし		●
ため池安全施設整備	—	なし	4	ため池安全施設設置 L=102m	事業追加	影響なし		●	
事業活用調査	住宅団地整備計画検討	2	調査	2	調査	なし	—	●	
	通学路安全マップ作成	1	調査	1	調査	なし	—	●	
	まちづくり事業効果分析調査	—	なし	2	住民アンケートを実施し、結果を分析調査	事業追加	影響なし		●
まちづくり 活動推進事業	安全・安心まちづくり活動事業	—	なし	1	ワークショップ開催、地区内のまちづくり活動を支援	事業追加	影響なし		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
上市川住宅団地造成事業(用地・整地・上水道)		上市川地区	200	200	平成18年度～平成21年度	平成18年度～平成21年度	完成し分譲中	
桜沢地区ため池等用排水整備事業		桜沢沼	247	247	平成16年度～平成20年度	平成16年度～平成20年度	完成	
桜沢地区地域用水環境整備事業		桜沢沼	264	264	平成15年度～平成20年度	平成15年度～平成20年度	完成	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度			基準年度		目標年度				あり	なし	
指標1	定住人口の増加	人	970	H7	863	H17	915	H21	モニタリング			モニタリング		●
									事後評価	確定見込み ●	860	事後評価	△	
指標2	住民満足度の向上	%	-		46.3	H17	60.0	H21	モニタリング			モニタリング		●
									事後評価	確定見込み ●	57.6	事後評価	△	
指標3									モニタリング			モニタリング		
									事後評価	確定見込み		事後評価		
指標4									モニタリング			モニタリング		
									事後評価	確定見込み		事後評価		
指標5									モニタリング			モニタリング		
									事後評価	確定見込み		事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	上市川地区においては、予想を上回る人口の減少があり、上市川団地の居住者を見込んで目標値に達することができなかったが、減少傾向に歯止めがかかったことは評価できる。	
指標2	歩道設置工事、街路灯・防犯灯設置工事が完成することにより、住民の安全・安心の満足度が向上すると想定される。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)		
			基準 年度		基準 年度								
その他の 数値指標1	地区内世帯数	世帯	平成21年6月30日時点で住民基本台帳により確認された世帯数に、平成21年度上市川団地の見込み世帯数を加えた値を計測し、整理する。	234	H7	238	H17	モニタリング			270	上市川住宅団地整備により、さまざまな世代が定住し地区内世帯数が増加したことが誰もが豊かに暮らすことができる良好な居住環境の形成(目標)を表す指標としてふさわしいため。	指標1を補完し、世帯数の増加を説明する。
								事後評価	確定	見込み ●			
その他の 数値指標2	保育園の児童数	人	平成21年9月1日時点で「保育所運営費支弁台帳(施設表)」より川内保育園に入所している児童数を計測し、整理する。	-		38	H17	モニタリング			65	保育園の改修工事により、子育ての環境が整い、誰もが豊かに暮らすことができる良好な居住環境の形成(目標)を表す指標としてふさわしいため。	
								事後評価	確定 ●	見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング					
								事後評価	確定	見込み			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・保育園の改修・拡張及び町の施策である保育園保育料の半額化により、子育ての環境が整った。
- ・保育園及び小学校の下水道整備により、衛生環境が向上した。
- ・街路灯・防犯灯の設置により、地区の防犯・交通安全施設が充実した。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
上市川地区安全・安心再生協議会の設立	予定どおり実施した	●【実施頻度】計3回 【実施時期】平成20～21年度 【実施結果】上市川地区安全・安心再生計画を各個に配布するとともに、ワークショップの開催により、安全に対する行政・警察・住民の安全に対する合意形成及び連携が図られた。	建設課が主管課となり、意見交換を行い、今後のまちづくりの方策について検討・整理する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(まちづくり交付金検討委員会)	総務課長、企画振興課長、福祉保健課長、農林課長、教育委員会教育課長、農業委員会事務局長、建設課長	第1回 平成21年7月29日 第2回 平成21年9月2日 第3回 平成21年9月29日	建設課(まちづくり交付金担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2		その他の指標1		その他の指標2			
指標名		住民満足度の向上		地区内世帯数		保育園の児童数			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	町道中平外ノ沢線 (L=645m)	○	安全・安心まちづくり活動事業及び通学路安全マップ作成のソフト事業、歩道整備、防犯灯設置のハード事業が効果を発揮し、安全・安心に対する住民満足度の向上につながった。	◎	上市川住宅団地整備により、さまざまな世代が定住し地区内世帯数が増加したことが誰もが豊かに暮らすことができる良好な居住環境の形成(目標)を表す指標としてふさわしく、上市川団地の宅地販売により地区内世帯数が増加することが認められる。	○	保育園の改修・拡張及び町の施策である保育園保育料の半額化が効果を発揮し、保育の環境が整ったことにより児童数の増加が認められる。		
	町道上市川団地周回線 外団地内道路(L=1134m)	△		◎					
	立谷地歩道 (L=150m)	◎		○					
	上市川上小線歩道 (L=226m)	◎		○					
	公園整備事業(A=1,250㎡)	△		○					
	下水道(暗渠)事業(L=1,649m)	—		○					
	地域生活基盤施設(防火水槽・防災無線・緑地)	○		○					
提案事業	生垣(景観づくり)	—		◎		—			
	共同アンテナ	—		○		—			
	ごみステーション	—		○		—			
	集会施設	△		○		—			
	住宅団地公共施設用地造成	△		○		—			
	保育所改修(保育所拡張等)	○		○		◎			
	保育所小学校下水道整備	—		○		◎			
	下水道(暗渠)	—		○		—			
	市民農園施設	—		○		—			
	防犯灯設置	◎		○		◎			
	ため池安全施設	—		○		—			
	住宅団地整備計画検討	—		○		—			
	通学路安全マップ作成	◎		○		○			
安全・安心まちづくり活動事業	◎		◎		◎				
関連事業	上市川住宅団地造成事業(用地・整地・上水道)	△		◎		—			
	桜沢地区ため池等用排水整備事業	—		○		—			
	桜沢地区地域用水環境整備事業	—		○		—			

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	安全・安心協議会の継続により、地域住民とともに安全・安心を強化する。	住んでよかったと思うような団地として、行政が団地の維持を支援強化する。	今後も子育て支援策を継続し、安定的な児童数を確保する。
-------	------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------



#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(まちづくり交付金検討委員会)	総務課長、企画振興課長、福祉保健課長、農林課長、教育委員会教育課長、農業委員会事務局長、建設課長	第1回 平成21年7月29日 第2回 平成21年9月2日 第3回 平成21年9月29日	建設課(まちづくり交付金担当課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
・定住環境の計画的な確保	・若年者の子育て世代が住める新たな環境が整備された。 ・八戸市内へ勤務している人々にはベッタウンとしての一定の役割を果たしている。		・新居住者の自治会再編 ・新居住者と周辺農業との環境摩擦
・誰もが安心して暮らすことのできる生活環境整備	小学校前の歩道整備、上市川地区安全・安心再生協議会のワークショップにおける要望箇所に街路灯を設置したことにより、以前より安全・安心な住環境に向上した。	・蓋なし側溝、ガードレール等の道路施設の改善。 ・横断歩道、カーブミラー、道路標識等安全施設の不足。	・新通学路の安全対策

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。



添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	上市川団地住民活動の持続	・集会施設の有効的な活用を行政が側面支援。 ・生垣及び市民農園施設の維持に関することを、行政が側面支援。	・宅地内植樹の育成支援 ・市民農園施設での農業技術指導に対する支援
	安全・安心協議会の持続	・地域の安全・安心を持続するため、定期的な協議会の開催を支援する。	・安全・安心協議会への支援

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	・住宅販売のさらなる推進 ・周辺農業との環境摩擦	・「定住促進キャンペーン」「紹介者Wプレゼント」等の住宅販売プランの継続と、通勤者やUターン希望者へのPRを促進する。 ・市民農園を利用し、農業者とのコミュニケーションをはかることにより農業への関心を深めてもらうよう行政が側面支援をする。	・宅地分譲キャンペーン ・市民農園施設での農業技術指導に対する支援
	・安全・安心の強化 ・道路施設の改善 ・安全施設の不足解消	・安全・安心協議会及びPTA活動による、安全・安心への側面支援。 ・通学路安全マップの見直しによる、標識等整備の要望。	・安全・安心協議会への支援 ・危険箇所の道路施設改善。
	・新居住者の自治会再編	・地元自治会との連携をはかれるよう側面支援をする。	・上市川住宅団地まちづくり協定委員会への支援

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

- ・上市川祭りを復活させ、新たな住民とのコミュニケーションを図れかどうか。
- ・市民農園での複数年契約用地を確保し、継続的な利用を促進するべき。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	定住人口の増加	人	863	H17	915	H22	確定 見込み ●	860	△	あり なし ●	→	平成22年4月	平成22年3月31日の住民基本台帳年齢別人口調べからデータを抽出し当該地区の居住者数として整理する。	
指標2	住民満足度の向上	%	46.3	H17	60.0	H22	確定 見込み ●	57.6	△	あり なし ●	→	平成22年6月末	従前値と同じ計測方法を用い、平成22年6月にアンケート調査を実施集計する。	
指標3				H		H	確定 見込み			あり なし	→			
指標4				H		H	確定 見込み			あり なし	→			
指標5				H		H	確定 見込み			あり なし	→			
その他の数値指標1	地区内世帯数	世帯	238	H17			確定 見込み ●	270			→	平成22年4月	平成22年3月31日の住民基本台帳からデータを抽出し地区内世帯数として整理する。	
その他の数値指標2	保育園の児童数	人	38	H17			確定 ● 見込み	65			→			事業の効果が明らかたため平成21年9月1日の児童数を確定値とする。
その他の数値指標3				H			確定 見込み				→			

**添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方**

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		・少子高齢化となっている現在では、まちづくりの目標として人口の増加は採用すべきではない。
	うまくいかなかった点	・定住人口の増加という目標は、想定外の自然減が発生したため、団地造成をしたにもかかわらず、人口減という結果になった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・上市川地区安全・安心再生協議会と各事業が効果を発揮し、住民の安全・安心に貢献した。	・ソフト施策を組み合わせることにより効果の発現が促進されており、他地区でも同様の取り組みを行いたい。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・通学路安全マップを全戸に配布するとともに、安全・安心再生計画のワークショップ開催により、行政・警察・住民の安全に対する合意形成及び連携が図られた。	・ワークショップの開催により関係機関の連携が促進され、合意形成には有効な方法である。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・事後評価を行ったことで、今後の活用策を庁内で確認することができた。	・他事業においてもPDCAサイクルを参考としていく。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

**添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)**

なし

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	平成21年10月26日～11月9日	平成21年10月26日～11月9日	担当課への 電話、FAX、電子メール	建設課(まちづくり交付 金担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報又は回覧で原案公表の お知らせ	平成21年10月23日			
説明会・ワークショップ	—				
その他	建設課窓口での閲覧	平成21年10月26日～11月9日	平成21年10月26日～11月9日		

住民の意見	・特になし				
-------	-------	--	--	--	--

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

### 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	北原 啓司（弘前大学教授 教育学部副学部長・建築、都市計画、まちづくり専門）	平成21年11月20日	建設課（まちづくり交付金担当課）	五戸町まちづくり交付金評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	丸山 一（五戸町都市計画審議会委員、五戸町観光協会会長） 原 光成（上市川地区安全・安心再生協議会会長、前上市川下区自治会長）				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・「保育園の児童数」については、園の拡張や保育料の半額助成等の相乗効果により、大変良い結果が出ていると評価された。 ・近年の人口減少傾向のため、「定住人口の増加」の数値目標は達成されなかったが、地区内の世帯数が増加しているのは、上市川団地造成がまちづくり効果を発揮しているという理解を得た。 ・指標の計測で使用した平均世帯人数を、もう少し低く設定した方が良いのではないかと意見があった。 ・上市川団地の整備は、安心して子供を育てられる環境という魅力に繋がり、プラスの評価になるという意見があった。
	実施過程の評価	・特になし。
	効果発現要因の整理	・歩道や防犯灯設置のハード事業と、安全・安心協議会の活動の効果により住民の関心が高まり、住民満足度が向上したのは、評価できるという意見が出た。 ・「自然減」という表現が適切でない部分があるとの指摘があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は適正に公表され、住民の意見はなかったが、この事業に対する批判意見はないと思われる。逆に自分の地域にもこのような事業をしてほしいという意見はあるかもしれないという意見が出た。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・上市川住宅団地まちづくり協定委員会のイメージについての確認と、これに町も係わってしっかり間に入って欲しいという意見がでた。 ・上市川団地の自治会は当面現自治会が対応し、増えてきたら独立させるべきではという意見が出た。
	フォローアップ	・達成状況が△と評価した指標については、適切な時期にフォローアップし、きちんと数字を整理して欲しいという意見がでた。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。